

第4回 由良川大規模内水対策部会

日時：令和2年2月13日（木）13:30～14:30

場所：福知山市消防防災センター 2階 研修室

【出席者（順不同）】

福知山市長（代理 伊東副市長）
舞鶴市長（代理 矢谷建設部長）
綾部市長（代理 山崎副市長）
宮津市長（代理 山根建設部長）
京都府 建設交通部長（代理 白波瀬河川課担当課長）
京都地方気象台 瀧台長
福知山河川国道事務所 矢野所長

議事1：各機関の取組の進捗状況（資料-1）

＜福知山市より、資料に基づき説明＞

- ・ 大江町河守～公庄地区の内水被害軽減対策については、社会資本整備の総合流域防災事業（ハード対策）として、準用河川の公手川改修や、調整池・ポンプ施設整備について、国、府と連携しながら来年度より事業化の予定。
- ・ ソフト対策として、適切なタイミングで避難行動をとるためマイマップ、マイタイムラインに加え、避難スイッチというものを設定していきたい。
- ・ 「避難のあり方検討会」を昨年12月に設置しており、令和2年度中にまとめたい。
- ・ 出水時、市街地から大江地区にポンプ車を派遣する場合、国道175号や府道舞鶴福知山線が由良川水位上昇により通行不可となり、大江地区にたどり着けない。堤防天端の走行や、高速道路を利用した経路などを検討している。
- ・ 樋門操作時に近隣に周知する回転灯は設置完了。環境改善として、トイレや空調の整備等に取り組む予定。

＜綾部市より、資料に基づき説明＞

- ・ 綾部市では、平成30年7月豪雨で土砂災害により3名の犠牲者が出ており、避難率向上の取組が重要と考えている。
- ・ 施福寺地区で避難行動・取組について府と協力しながらモデルを作成し、水害時等の避難行動タイムラインの作成に取り組んでいるほか、浸水被害のあった下市自治会や防災意識の高い里町自治会、西坂町自治会の3箇所でも実施している。
- ・ 平成27年度に策定した「市街地の雨水対策基本計画」に基づき、排水ポンプ車の導入、雨水ポンプ場の整備を行っている。
- ・ 市が管理する古川樋門等4樋門で、洪水時に樋門閉鎖状況がわかるよう回転灯を設置。近隣住民等に早期避難を促したい。

＜舞鶴市より、資料に基づき説明＞

- ・ 内水被害発生地域の浸水メカニズムを解析し、避難判断水位や内水排水量について検討する。
- ・ 志高地区において避難行動タイムラインの作成支援を昨年6月～8月で3回実施した。他地区の避難行動タイムラインについても、京都府と連携し由良川沿川の区長会を対象とした地域防災リーダー研修会を、令和2年3月に実施予定。
- ・ 志高地区では、早めの避難を呼びかけるために、最も低い家屋高を内水危険水位と想定し、1時間のリードタイムを考慮した内水避難判断水位を設定した。内水避難判断水位を避難情報

として活用できるよう、令和 2 年度に市管理河川に水位計を設置し、スマートフォン等で情報確認できるように整備する。

- ・ 排水ポンプ車を 1 台購入するが、国交省による排水ポンプ車の前進配置を今後も期待しており、排水ポンプ車を活用しながら、内水被害の軽減について取り組みたい。

＜宮津市より、資料に基づき説明＞

- ・ ソフト対策として、令和元年度は市内 9 自治会において自主的な早期避難行動を促すための説明会を実施し、そのうち、由良川沿川については 2 自治会で実施した。
- ・ 由良地区は河口近くで大きな被害が発生していないことから危機意識が低く、避難行動タイムラインの作成などにより意識向上を図りたい。
- ・ ハード対策については、由良地区整備の方向性が輪中堤で決定したことを踏まえ、令和 2 年 2 月に地元住民説明会を開催した。説明会では内水対策についても意見が出ており、市としても河川整備に合わせた内水対策を検討したい。

＜京都府より、資料に基づき説明＞

- ・ 大野ダムの洪水調節と情報充実に向けた取組として、平成 30 年度に検討会を開催し概ねの実施方針をとりまとめている。
- ・ 事前放流の充実化に向けた実証実験の実施として、ダム内の最低水位を EL155.0m から EL150.0m まで下げる実証実験を実施予定。
- ・ 中小河川であっても行政側の避難勧告に役立つよう、あるいは住民の自主避難に関する情報を目指し、危機管理型水位計を設置しており今年度内に 122 箇所を設置予定。
- ・ 中小河川の家屋浸水等の状況がリアルタイムに分かるよう、簡易型河川監視カメラの設置を進めており、由良川流域では 11 箇所の設置予定。

＜京都地方気象台より、資料に基づき説明＞

- ・ 洪水警報の危険度分布では、内水氾濫の危険度を判定しているということがあるが、認知度が低いため利活用方法の周知と表示方法の改善について取り組んでいる。
- ・ 気象庁ホームページには、溢水型内水氾濫の危険度を表示する方法の解説も掲載している。また、洪水警報の危険度分布において洪水浸水想定区域を重ね合わせて表示する改善も行っている。
- ・ 洪水警報の危険度分布の改善については、年度内に改善案をまとめて令和 2 年出水期に改善予定。

＜福知山河川国道事務所より、資料に基づき説明＞

- ・ 由良川本川水位低減のための、河道掘削と樹木伐採を実施している。樹木伐採は令和元年夏から実施中。資料では公庄地区と栗町を例示しているが、残る地区も令和 2 年出水期までの間に順次作業予定。
- ・ 土のう造成機について 2 月 17 日に試運転と操作説明会を兼ねてデモンストレーション予定。4 月以降、各市に機械を貸与し備蓄材のストック作成等に活用されたい。
- ・ 京都府の危機管理型水位計と同じ機械であるが、管内 30 カ所に設置している。計測データは川の防災情報で公開している。
- ・ 府と同様に簡易型河川監視カメラの設置を推進している。今年度内には管理区間で 39 カ所設置を予定。令和 2 年 4 月以降の公開予定。

【議事1に対するその他意見】

＜福知山河川国道事務所＞

- ・ その他の情報として、「既存ダムの洪水調節機能強化に向けた協議会」を1月21日に由良川水系以下10水系合同で設置した。京都府の大野ダムも含め、利水ダムや発電ダムも、大規模な洪水時に貯留する可能性について検討を行うこととしている。

議事2：今後の予定（資料-2）

【内水対策部会の今後の開催予定の説明】

- ・ 福知山河川国道事務所（事務局）より説明

【議事2に対する質疑応答】

- ・ 特になし

議事3：その他

＜福知山市からの意見＞

- ・ 内水ということで個別的な部分もあるが流域で関連することもあり、減災協議会同様に「主要事項を相互に進捗確認できる」整理があると、関係機関の展開に役立つ。
- ・ 福知山市街地における総合的な治水対策では、国・府・市の事業があるが、連携して事業を進めるためにも進捗管理も必要であるが、由良川沿川の自治体や、大野ダムの調整状況などについて、時間軸で進捗状況がわかれば役立つので、情報共有していきたい。

＜福知山河川国道事務所（事務局）からの回答＞

- ・ いただいたご意見について、目標設定や進捗状況の表現方法等について、担当者間で議論していきたい。

以上